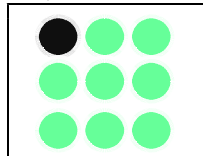
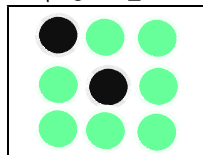
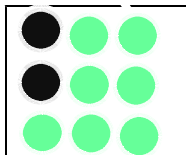
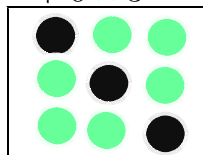
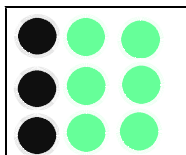


自作教具の活用事例

【作品名】 かけ算九九遊び	【学校名】 日立市立櫛形小学校
【活用できる領域・教科等】 算数	【制作者名】 於曾能 伸浩
【制作の意図】 かけ算九九を書いて覚えるのが苦手な児童がビンゴゲームをしながらかけ算九九の学習意欲を高めることができる。	【使用の方法】 複数で行う。 対戦相手と横に並んで行う。 9個の駒を白面を上にして縦3列横3列になるように並べる。 出題者がカードを引いて答えを言う。 答えが出たら駒を裏返して斜めに並んだら勝ち。
【制作上の工夫】 ビンゴカードの代わりにオセロ板と駒を使うことで繰り返しビンゴゲームを行うことができる。 駒の白の面に答えのシールを貼っておく。	【見取り図】 A 者⑥ ④⑧ ②④ ④② ⑫ ③⑥ ③⑥ ⑤⑩ ⑩⑧ カード6×1  B 者⑥ ②④ ④② ⑫ ③⑥ ④⑧ ⑩⑧ ③⑥ ⑤⑩ カード6×2   カード6×3   斜め1列にそろったA者の勝ち。
【写真】 	【使用効果と応用発展】 小集団活動の中に取り入れることができる。 ばらばらの九九に答えることができるようになる。 思考、判断、表現を身に付けることができる。 ゲームをしながら役割交替も経験できコミュニケーション能力を高める。
【材料・材質・部品等】 ビンゴゲーム板と駒 シール かけ算九九カード	